

12月中旬、信州大学
経法部講義室で行わ
れた国税庁長官迫田英
典さんが講師の「我が
国の直面する諸課題、
財政、税制、国債、税
務行政」の講義を聴

フリー!! 風 (現場)からの

宮田
守男

講する。直接国税庁長官から話が聞ける期待感から、学生・税理士会・会計人会や大学関係者で、用意された約50ページの詳細な資料が不足するほど講義室に大勢の聴講者。大学の持つ人材ネットワークリの適正かつ公平な賦課及び徴収の実現等を任務とした財務省の外局。「霞が関」の人事で、35年ぶりに、主税局長から事務次官に昇格の話題でも、今後の経済財政運営に関心が高まっている。経済成長と財政健全化の道筋は、世界各国の新しいリーダーらの動向で注

生に将来の日本について考えてほしいとの意図が解説内容の随所から伝わってくる。予算是、「つじつま合わせ」。全体歳出予算の、3分の1が社会保障費、4分の1が国債費、歳入の3分の1を公債費で賄う自転車操業が実

私たちを取り巻く行政運営や経済運営に興味を持つてみませんか

目されている。また最近の円高進行が懸念される現状に、これから日本の動向への強い危機感が就職を控えた学生からも強く伝わっている。

講義内容は、主に学年比較、社会保障費が約20%、国債費が約9%の増加との説明に学生たちが真剣に資料にて目を通す。

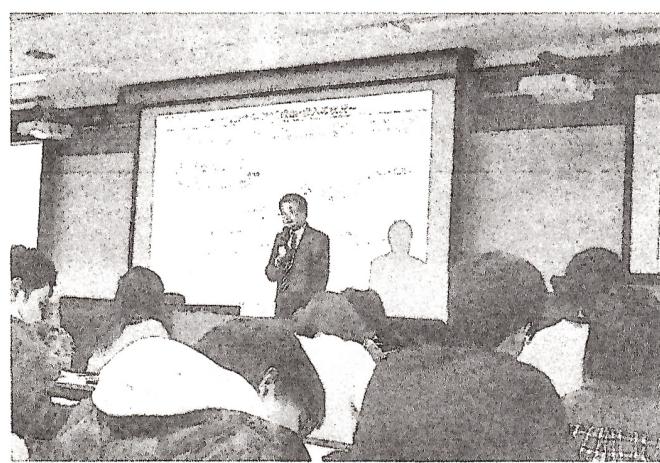
日本の税制は、1949年にコロンビア大學生教授シャープが団長の日本税制使節団が、4か月間弱の調査で報告した通称シャープ勧告が戦後の税制に大きな影響している。複雑な税制や運用上の不公平が見直され、地方自治体の独立性が確立できた点など評価できる所もあるが、超高齢化

が財政の建前。所得税は、年度により波があるが、消費税は安定していてブレがない。と各財政データで説明を続ける。平成2年と28

年比較、社会保障費が約20%、国債費が約9%の増加との説明に学生たちが真剣に資料にて目を通す。

日本は、1949年にコロンビア大學生教授シャープが団長の日本税制使節団が、4か月間弱の調査で報告した通称シャープ勧告が戦後の税制に大きな影響している。複雑な税制や運用上の不公平が見直され、地方自治体の独立性が確立できた点など評価できる所もあるが、超高齢化

が財政の建前。所得税は、年度により波があるが、消費税は安定していてブレがない。と各財政データで説明を続ける。平成2年と28



国トップクラスの人材での講義、
今後の社会に夢を抱く学生にとっても貴重な機会だ

が、税体系が社会構造の変化に対応できてい

ける大切さも実感できた。現在の国税庁職員は約5万6000人、東京ドーム最大収容人員やパナソニック単体の従業員数と同等だが、税体系が社会構造の変化に対応できてい

ける大切さも実感できった。現在の国税庁職員は約5万6000人、東京ドーム最大収容人員やパナソニック単体の従業員数と同等だが、税体系が社会構造の変化に対応できてい